

## 安全データシート

ページ: 1/16

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 23. 12. 2024

製品: Na-Ethylate Crystals

バージョン: 11.0

(30036707/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 08.10.2025

### 1. 化学品及び会社情報

**品名:**

Na-Ethylate Crystals

用途: 化学品

推奨用途: プロセスケミカル, 原材料

供給者の会社情報、住所及び電話番号:

BASFジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号

OVOL 日本橋ビル 3階

電話番号: +81-3-5290-3000

Eメールアドレス: Japan-SDS-Info@basf.com

緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245

+49 180 2273-112 (International emergency number)

### 2. 危険有害性の要約

**【化学品のGHS分類】:**

可燃性固体: 区分1

自己発熱性化学品および混合物: 区分1

急性毒性: 区分4 (経口)

皮膚腐食性: 区分1A

眼に対する重篤な損傷: 区分1

**【GHSラベル要素】:**

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

- H228 可燃性固体。  
H251 自己発熱：火災のおそれ。  
H302 飲み込むと有害。  
H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。

注意書き（安全対策）:

- P210 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。  
P280 保護手袋と保護衣と保護眼鏡または保護面を着用すること。  
P260 粉じん/ガス/ミスト/蒸気を吸入しないこと。  
P241 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。  
P235 涼しいところに置くこと。  
P240 容器を接地しアースをとること。  
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
P264 取扱い後は汚染された体の部分をよく洗うこと。

注意書き（応急措置）:

- P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
P310 直ちに医師に連絡すること。  
P303 + P361 + P353 皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣服をすべて取り除くか脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗い流すこと。  
P304 + P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
P301 + P330 + P331 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。  
P370 + P378 火災の場合：消火するために…を使用すること。

注意書き（保管）:

- P405 施錠して保管すること。  
P407 積荷やパレット間に隙間をあけること。  
P420 離して保管すること。  
P413 1000kg以上の大量品は、25℃以下の温度で保管すること。

注意書き（廃棄）:

- P501 適切に分別した内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。

GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性:

この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS分類の結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与する可能性があるGHS分類以外の危険性に関するものである。  
細かく分散されると自己発火の恐れあり。本品は、条件によっては粉塵爆発を起こす可能性がある。  
水や湿気の存在中で、金属を腐食する。

水と激しく反応する。気道を腐食する。

### 3. 組成及び成分情報

#### 化学特性

化学物質・混合物の区別: 単一製品

#### ソジウムエチラート

CAS番号: 141-52-6

化審法: (2)-204

労働安全衛生法: (2)-204

#### GHS分類に寄与する成分

##### エタノール

含有量 (W/W):  $\geq 0.1\%$  -  $< 5\%$

CAS番号: 64-17-5

化審法: (2)-202

労働安全衛生法: (2)-202

引火性液体: 区分 2

眼に対する重篤な損傷／眼刺激性: 区分 2A

### 4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:

汚れた衣服は直ちに置き替える。救急隊員は自身の安全に注意を払うこと。患者が意識を失いそうになったら、横向き（回復体位）で安静に寝かせ、搬送する。

[吸入した場合]:

安静にし、新鮮な空気のある場所へ移動させ、医師の診察を受けること。

[皮膚に付着した場合]:

直ちに水で十分に洗い流した後無菌包帯を巻き、医師の診察を受ける。

[眼に入った場合]:

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:

直ちに口をすすぎ200 - 300 mlの水を飲ませた後、無理に吐かせたりせず医師の診断を受ける。

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: 皮膚に対する腐食性, 眼の刺激性, 更なる症状の可能性がある。  
危険有害事項: 意図された用途と適切な取り扱いをすれば、危険性はないと考えられる。  
処置: 症状に応じて処置 (洗浄・機能回復) を講じる。

## 5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

粉末, 乾燥砂, 耐アルコール性泡

[使ってはならない消火剤]:

水, 二酸化炭素

[火災時の特有の危険有害性]:

水と激しく反応する。極めて引火性の高い、及び/又は、腐食性のガス/蒸気を放出することがある。

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:

自給式呼吸器および耐薬品性保護衣を着用のこと。

[追加情報]:

汚染された消火用水を別途回収すること。下水または廃水処理施設に流さないこと。汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。

## 6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:

皮膚、眼、衣服への接触を避ける。蒸気／粉塵／エアゾールに暴露される場合は、呼吸保護具を着用すること。

[環境に対する注意事項]:

環境への流出を避けること。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:

少量の場合: 掃き集めるかすくい取る。回収した製品を直ちに処分すること。

大量の場合: 掃き集めるかすくい取る。回収した製品を直ちに処分すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

作業場の換気を十分に行う。換気装置なしに大量に取り扱う場合は呼吸保護具を着用する。湿気を避ける。空気との接触を避ける。直射日光を避ける。

安全取扱注意事項:

静電気放電に対する予防措置を講ずること。着火源を近づけない。消火器常備のこと。粉塵を発生させない。

### [保管]

酸および酸を生成する物質から離しておくこと。

適切な包装容器材料: 低密度ポリエチレン (LDPE), ステンレス鋼 1.4301, ステンレス鋼 1.4401, ガラス, 高密度ポリエチレン (HDPE), カーボンスチール(鉄), ステンレス鋼 1.4541, ステンレス鋼 1.4571, アルキド樹脂ラッカー441

不適切な包装容器材料: アルミニウム, 亜鉛メッキ, 鉛メッキ, 紙, スズ (ブリキ)

保管条件に関する追加情報: 容器は密閉して乾燥した換気の良い冷暗所に保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 許容濃度

記載の物質は、大気中の湿気の影響下で徐々に分解した結果である。

エタノール, 64-17-5;

STEL (short term exposure limit : 短時間 1,000 ppm (ACGIHTLV))

水酸化ナトリウム, 1310-73-2;

CLV (ceiling limit value : 上限値) 2 mg/m<sup>3</sup> (ACGIHTLV)

CLV (ceiling limit value : 上限値) 2 mg/m<sup>3</sup> (日本産業衛生学会 許容濃度)

### 【保護具】

[呼吸用保護具]:

もしエアゾール/粉塵が発生した場合、呼吸保護具を着用すること。固体および液体微粒子に対して中性能粒子フィルター（例：EN 143または149、タイプP2またはFFP2）

[手の保護具]:

長手袋使用のこと。

長時間の直接接触でも問題ない素材（保護指針6に準ずることが望ましい。EN ISO 374-1によると、透過時間は480分以上であること。）：

ブチルゴム（ブチル）、肉厚0.7 mm

フッ素ゴム（FKM）、肉厚0.7 mm

補足：仕様は、試験、文献データ及び手袋製造業者の情報に基づくもの、あるいは類似の物質から類推されたものである。条件が多いため（温度など）、耐薬品性保護手袋の実際の使用時間は試験で別途得られた物質透過時間よりかなり短いと考えなければならない。

種類が多岐にわたるため、製造業者が指示した方法を遵守すること。

[眼の保護具]:

ゴーグル型保護メガネ（ケージゴーグル）（EN 166準拠）および保護面

[皮膚及び身体の保護具]:

作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等（飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。）。

[一般的な安全及び衛生対策]:

皮膚、眼、衣服への接触を避ける。粉塵を吸入しないこと。労働安全衛生に関する実施基準に従い、取り扱うこと。粉塵を吸入しない。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	粉末, 結晶状
色:	白色～淡黄色
臭い:	無臭
臭いのしきい値:	適用せず、臭気を知覚できない
pH:	12.8 (7 g/l, 20 ° C)
融点 (分解) :	260 ° C 文献データ 分解する。
沸点:	(1,013.25 hPa) 物質が分解するため、測定不能。
分解温度:	>= 260 ° C (1,013 hPa) 文献データ
引火点:	該当しない、製品は固体である。
蒸発率:	この製品は、不揮発性固体である。
可燃性 (固体/ガス):	可燃性固体 (UN Test N.1 (ready combustible solids))
爆発下限界:	分類と表示に関係しない固体用に関するものである。
爆発上限界:	分類と表示に関係しない固体用に関するものである。
自然発火温度:	適用せず
熱分解:	> 280 ° C 表示の値は、不活性ガス雰囲気に関するものである。 (DTA (differential thermal analysis : 示差)
	> 50 ° C 空気に曝されると自然発火する危険性がある。

自己発火性:	温度: > 50 ° C	
自己発熱性:	自然発熱の可能性のある物質である。(UN Test N.4 (self heating substances))	
SADT:	> 75 ° C Heat accumulation / Dewar 500 ml (SADT, UN-Test H.4, 28.4.4)	
爆発危険有害事項:	爆発性なし。	
火災を引き起こす性質:	構造的長に基づき、製品は酸化剤に分類されない。	
蒸気圧:	0.0000028 hPa (25 ° C)	(算出)
密度:	0.868 g/cm <sup>3</sup> (20 ° C) 文献データ	
相対密度:	データなし。	
嵩密度:	約 500 kg/m <sup>3</sup> (< 40 ° C)	(DIN 53466)
相対ガス密度 (空気):	この製品は、不揮発性固体である。	
水に対する溶解性:	加水分解する、自己分解	
湿度測定:	吸湿性	
溶解度 (定性的) 溶媒:	アルコール類 可溶	
記載物質に関する情報:	エタノール	
n - オクタノール/水分配係数 (log Pow):	-0.31 (25 ° C) 文献データ	(測定)
-----		
:	n-オクタノール／水の分配係数(log Pow)から、吸着はないと考えられる。製品は未試験である。記述は、加水分解生成物の特性によるものである。	
表面張力:	化学構造に基づき、表面活性はないと考えられる。	
粘度:	試験は、科学的に正当化されていない。	
動粘性率:	該当しない、製品は固体である。	

粒子特性

粒度分布:	55.0 µm	(D10, ISO 13320-1)
	200.0 µm	(D90, ISO 13320-1)
	110.0 µm	(D50, ISO 13320-1)
粒度分布:	微粒子 -	

## 10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:

湿気を避けること。大気との接触を避けること。

熱分解: > 280 ° C (DTA (differential thermal analysis : 示差)  
表示の値は、不活性ガス雰囲気に関するものである。

熱分解: > 50 ° C  
空気に曝されると自然発火する危険性がある。

[混触危険物質]:

水, 酸

金属の腐食: 腐食性あり :  
アルミニウム  
水や湿気の存在中で、金属を腐食する。

[危険有害な分解生成物]:

発熱反応。水および酸と反応する。活性塩素を含有する物質と反応する。空気の下で自己発熱の可能性はある。微粉末が蓄積すると、空気中では粉塵爆発の危険性が生じることがある。

[危険分解物]:

水酸化ナトリウム, エタノール

反応性:

指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

## 11. 有害性情報

### ばく露経路

#### 急性経口毒性

実験または計算によるデータ:

LD50 (半数致死量) ラット (経口): 560 mg/kg (OECDテストガイドライン401)

#### 急性皮膚毒性

(経皮):物質の腐食性特性の為、より高い投与の試験は出来ない。試験の実施は、必要ない。

#### 急性毒性の評価



単回摂取後、中程度の毒性を示す。

記載物質に関する情報： エタノール

### 急性吸入毒性

実験または計算によるデータ:

LC50（半数致死濃度） ラット (吸入による): 124.7 mg/l 4 h (BASF試験)

蒸気で試験した。

### 症状

皮膚に対する腐食性 眼の刺激性 更なる症状の可能性がある。

### 刺激性

刺激性作用の評価:

腐食性。皮膚及び眼を損傷する。

実験または計算によるデータ:

皮膚腐食性／刺激性 ウサギ: 腐食性 (OECDテストガイドライン404)

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性:本品は皮膚に対する腐食性があるので、眼にも同様の作用があると考えられる。

### 呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:

この物質は、腐食性であるので、感作性試験は、不可能である。

### 生殖細胞変異原性

変異原性の評価:

細菌類に対して変異原性を示さなかった。哺乳類の培養細胞に対して変異原性を示さなかった。哺乳類を用いた試験では、変異原性を示さなかった。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

記載物質に関する情報： エタノール

変異原性の評価:

細菌類に対して変異原性を示さなかった。哺乳類の培養細胞に対して変異原性を示さなかった。哺乳類を用いた試験では、変異原性を示さなかった。

### 発がん性

発がん性の評価:

評価できるすべての情報は、発がん効果を示す証拠はない。

記載物質に関する情報： エタノール

発がん性の評価:

国際癌研究機関（IARC）は、この物質をヒトに対する発癌性が認められるGroup 1に分類した。評価できるすべての情報は、発がん効果を示す証拠はない。

## 生殖毒性

生殖毒性の評価:

動物試験の結果、高濃度の投与において繁殖障害が示唆された。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

## 発生毒性

催奇形性の評価:

動物実験では、この物質は母体に対して有毒となるような高用量で発生毒性を示した。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

## 特定標的臓器毒性（単回ばく露）

特定標的臓器毒性評価に利用できる情報は、充分でない。

## 特定標的臓器毒性（反復ばく露）

反復投与毒性の評価:

多量の反復暴露で特定の臓器に影響を与える可能性がある。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。繰り返しの投与後、顕著な影響は腐食の誘発である。

## 誤えん有害性

適用せず

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

水生生物に対する毒性の評価:

水生生物に対して急性の有害性はほとんどないと考えられる。廃水処理施設に低濃度で適切に流入すれば、活性汚泥の分解活性を阻害しない。

製品は未試験である。記述は、加水分解生成物の特性によるものである。この製品は、pHシフトを起こさせる。生態毒性効果は、そのpHによるものである。

魚類に対する毒性:

EC50 (96 h) 12,900 mg/l, ファットヘッドミノー（学名:）Pimephales (魚急性試験, 流水式)

製品は未試験である。記述は、加水分解生成物の特性によるものである。文献データ

水生無脊椎動物:

LC50 (半数致死濃度) (48 h) 5,012 mg/l, Ceriodaphnia dubia (その他, 止水式)

製品は未試験である。記述は、加水分解生成物の特性によるものである。文献データ

EC50 (24 h) 857.79 mg/l, ブラインシュリンプ (学名: *Artemia salina* (その他))  
製品は未試験である。記述は、加水分解生成物の特性によるものである。文献データ

水生植物:

EC50 (4 日) 275 mg/l (成長率), 緑藻 (学名: *Chlorella vulgaris*) (OECDテストガイドライン 201, 止水式)

製品は未試験である。記述は、加水分解生成物の特性によるものである。文献データ

EC10 (10%影響濃度) (4 日) 11.5 mg/l (成長率), 緑藻 (学名: *Chlorella vulgaris*) (OECDテストガイドライン 201, 止水式)

製品は未試験である。記述は、加水分解生成物の特性によるものである。文献データ

EC50 (7 日) 4,432 mg/l (その他), *Lemna gibba* (その他, 止水式)

製品は未試験である。記述は、加水分解生成物の特性によるものである。文献データ

無影響濃度 (7 日) 280 mg/l (その他), *Lemna gibba* (その他, 止水式)

製品は未試験である。記述は、加水分解生成物の特性によるものである。文献データ

微生物/活性汚泥への影響:

毒性限界濃度 (16 h) 6,500 mg/l, プチダ菌 (学名: *Pseudomonas putida*) (その他, 水生の)

文献データ 製品は未試験である。記述は、加水分解生成物の特性によるものである。

魚類に対する慢性毒性:

無影響濃度 (120 h) 250 mg/l, ゼブラフィッシュ (学名: *Brachydanio rerio*) (OECDテストガイドライン 212, 半止水式)

データなし。

水生無脊椎動物に対する慢性毒性:

無影響濃度 (9 日), 9.6 mg/l, オオミジンコ (学名: *Daphnia magna*) (Daphnia 試験 慢性, 半止水式)

製品は未試験である。記述は、加水分解生成物の特性によるものである。文献データ

記載物質に関する情報: 水酸化ナトリウム

水生生物に対する毒性の評価:

濃度等の条件によっては、廃水処理施設に流入した場合に活性汚泥の分解活性を阻害する恐れがある。

水生生物に対して急性の有害性はほとんどないと考えられる。

pH値により強力な影響があります。データは、この物質の分解型に関するものである。

記載物質に関する情報: エタノール

水生生物に対する毒性の評価:

水生生物に対して急性の有害性はほとんどないと考えられる。廃水処理施設に低濃度で適切に流入すれば、活性汚泥の分解活性を阻害しない。

記載物質に関する情報: 水酸化ナトリウム

魚類に対する毒性:

LC50 (半数致死濃度) (96 h) 125 mg/l, カダヤシ (学名: *Gambusia affinis*) (その他, 止水式)

本品は、試験系のpH値を変化させてしまうため、結果については中和していないサンプルを参照する。  
文献データ

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 23. 12. 2024

製品: Na-Ethylate Crystals

バージョン: 11.0

(30036707/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 08.10.2025

記載物質に関する情報: エタノール

魚類に対する毒性:

LC50 (半数致死濃度) (96 h) 13,000 mg/l, ニジマス (学名: *Salmo gairdneri* または *Onc* (魚急性試験, 止水式)

毒性作用の詳細は設定濃度に関する。文献データ

記載物質に関する情報: 水酸化ナトリウム

水生無脊椎動物:

EC50 (48 h) 40.4 mg/l, ネコゼミジンコ属 (学名: *Ceriodaphnia* sp. (その他, 止水式)

文献データ

記載物質に関する情報: エタノール

水生無脊椎動物:

LC50 (半数致死濃度) (48 h) 12,340 mg/l, オオミジンコ (学名: *Daphnia magna*) (ミジンコ急性試験, 止水式)

毒性作用の詳細は設定濃度に関する。文献データ

(48 h) 5,012 mg/l, *Ceriodaphnia dubia* (ミジンコ急性試験)

毒性作用の詳細は設定濃度に関する。文献データ

記載物質に関する情報: エタノール

水生植物:

EC50 (4 日) 675 mg/l (成長率), 緑藻 (学名: *Chlorella vulgaris*) (藻類成長阻害試験)

毒性作用の詳細は設定濃度に関する。文献データ

記載物質に関する情報: エタノール

微生物/活性汚泥への影響:

毒性限界濃度 (16 h) 6,500 mg/l, プチダ菌 (学名: *Pseudomonas putida*) (その他, 水生の)

毒性作用の詳細は設定濃度に関する。文献データ

陸生生物に対する毒性の評価:

陸生生物に対する毒性についてのデータは得られていない。

土壌生物:

LC50 (半数致死濃度) (48 h) 100 - 1000 µg/cm<sup>2</sup>, シマミミズ (学名: *Eisenia foetida*) (スクリーニングテスト, ろ紙)

陸生植物:

EC50 (6 日) 7,890 - 15,780 mg/l, 陸生植物 (スクリーニングテスト)

文献データ

その他の陸生非哺乳動物:

データなし。

## 移動性

環境区分間の輸送評価:

製品の特性のため、試験は不可能である。

記載物質に関する情報: 水酸化ナトリウム

環境区分間の輸送評価:

水面から大気中に揮発しない。

土壌の固相には吸着しないと考えられる。

試験は、科学的に正当化されていない。

記載物質に関する情報: エタノール

環境区分間の輸送評価:

水面から大気中に揮発しない。

土壌の固相には吸着しないと考えられる。

## 残留性・分解性

除去情報:

84 % CODに対するBOD (20 日) (その他) (好気性, 家庭廃水由来、未順化) 生分解性良好 (OECD基準による)

文献データ 製品は未試験である。記述は、加水分解生成物の特性によるものである。

記載物質に関する情報: エタノール

生分解性及び除去率の評価 (水中環境):

生分解性良好 (OECD基準による)

記載物質に関する情報: エタノール

除去情報:

89 % ThOD (theoretical oxygen demand: 理論的酸素要求量) に対するBOD (14 日) (OECDテストガイドライン301C、ISO 9408、92/69/EEC, C.) (好気性, MITI基準 (OECD 301C) に準じた接種試料)

文献データ

84 % ThOD (theoretical oxygen demand: 理論的酸素要求量) に対するBOD (20 日) (その他) (好気性, 家庭廃水由来の活性汚泥、未順化)

文献データ

水中での安定性評価:

物質は水と接触すると急速に加水分解される。

水中における安定性に関する情報 (加水分解):

物質は水と接触すると急速に加水分解される。

## 生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価:

生体蓄積性はないと考えられる。  
製品は未試験である。記述は、加水分解生成物の特性によるものである。

生体蓄積性:  
データなし。

記載物質に関する情報: エタノール  
生体蓄積性の可能性評価:  
n-オクタノール／水の分配係数 (log Pow) より、生体への著しい蓄積はないと考えられる。  
-----  
-----

### その他の有害作用

吸着性有機結合ハロゲン (AOX):  
本製品は有機ハロゲンを含有しない。

### [追加情報]

その他の環境毒性情報:  
未処理で河川等に流さないこと。本品はそのPH値のために、一般に中和してから流す。廃水処理施設に低濃度で適切に流入すれば、活性汚泥の分解活性を阻害しない。廃棄および浄水処理に関する国内の法令に準拠すること。

## 13. 廃棄上の注意

保護具を使用して過剰の水で製品を加水分解するか、法律に従って廃棄する。  
廃水処理施設に流す前に環境汚染管理当局の承諾を得ること。

[汚染された容器]:  
汚染された包装から内容物を可能なかぎり取り除き、包装を完全に浄化した上でリサイクルに回すこと。

## 14. 輸送上の注意

### 国際陸上輸送:

国連番号もしくはID番号: UN 3095  
品名 (国連輸送名): CORROSIVE SOLID, SELF-HEATING, N. O. S. (ナトリウムエチラート/  
ナトリウムエタノレート)  
国連分類 (輸送における危険有害性クラス): 8, 4.2  
容器等級: I  
環境有害性: 非該当  
使用者への特別注意事項: 知見なし

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 23. 12. 2024

製品: Na-Ethylate Crystals

バージョン: 11.0

(30036707/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 08.10.2025

**海上輸送**

IMDG

国連番号もしくはID番号:

UN 3095

品名（国連輸送名）:

CORROSIVE SOLID,  
SELF-HEATING,  
N. O. S. （ナトリウム  
エチラート/ナトリ  
ウムエタノレート）国連分類（輸送における  
危険有害性クラス）:

8, 4.2

容器等級:

I

環境有害性:

非該当

海洋汚染物質: 非該  
当使用者への特別注意事  
項:

EmS: F-A; S-N

**Sea transport**

IMDG

UN number or ID number:

UN 3095

UN proper shipping  
name:CORROSIVE  
SOLID,  
SELF-HEATING,  
N.O.S. (SODIUM  
ETHYLATE/SODI  
UM  
ETHANOLATE)  
8, 4.2Transport hazard  
class(es):

Packing group:

I

Environmental hazards:

no

Marine pollutant:  
NOSpecial precautions for  
user:

EmS: F-A; S-N

**航空輸送**

IATA/ICAO

国連番号もしくはID番号:

UN 3095

品名（国連輸送名）:

CORROSIVE SOLID,  
SELF-HEATING,  
N. O. S. （ナトリウム  
エチラート/ナトリ  
ウムエタノレート）国連分類（輸送における  
危険有害性クラス）:

8, 4.2

容器等級:

I

環境有害性:

環境に対する有害性  
の表示は必要ない使用者への特別注意事  
項:

知見なし

**Air transport**

IATA/ICAO

UN number or ID  
number:

UN 3095

UN proper shipping  
name:CORROSIVE  
SOLID,  
SELF-HEATING,  
N.O.S. (SODIUM  
ETHYLATE/SODIU  
M ETHANOLATE)  
8, 4.2Transport hazard  
class(es):

Packing group:

I

Environmental hazards:

No Mark as  
dangerous for the  
environment is  
neededSpecial precautions for  
user:

None known

**IMO機器によるバルクの海上輸送**

海上のバルク輸送は目的としない。

指針番号:

136

**Maritime transport in bulk according to  
IMO instruments**

Maritime transport in bulk is not intended.

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

#### [追加情報]

特定の輸送に関する国内法規を遵守すること。該当法規は船積書類に記載されている。

## 15. 適用法令

消防法: 非危険物, 指定可燃物・可燃性固体類

エタノール  
労働安全衛生法  
通知対象物

エタノール  
労働安全衛生法  
表示対象物

船舶安全法  
可燃性物質類 (JP)  
自然発火性物質

#### その他の規則

もしも、このSDSの他の章に記載されていない法的情報がある場合には、この章に記載されます。

## 16. その他の情報

化学工業

【JIS Z 7252/7253 : 2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報がないことを示す。

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。